

豊庄だより



第 723 号 2022 年 9 月 12 日

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達

「トイレの流れが変なのですけど・・・」という報告があったのは、9月6日(火)夕方のことでした。どんな状態になっているのかを確かめました。水は出るのですが、排水が不良です。このまま放置していたら、水が便器か



らあふれることになりそうでした。問題のトイレの場所は1階の2か所。いずれも職員用(保育園では給食関係者は独立したトイレの設置が義務付けられているためトイレは2か所)です。子どもたちには直接の影響はなかったのですが、職員は2階のトイレを使わなければならなくなりました。図面を見ると、2つのトイレは繋がっていて、排水管が詰まっていることが考えられました。しかし、素人ではどうしようもありません。すぐに知り合いの業者に電話をしました。「それは大変ですね。7日に伺います」とすぐに対応してくれました。

電話では「来るのは16時過ぎになりそう」と

いうことでしたが、保育園が困っているだろうと思ってくれたようで予定の時刻よりずいぶん早く来てくれました。一緒にトイレの水の流れを確かめ、排水溝を見ることになりました。排水のパイプは西のほうに伸びていて、事務室の西側にある倉庫の下を通り、下水につながっていました。

倉庫の床に排水溝の蓋があり、それを開けました。すると、植物の根っこが見つかりました。「これが原因です」と断言し、「この奥に根っこの塊があります」と話してくれました。上の写真がそれです。直径は約30センチメートル。排水管に根が入り込み、下水の「栄養」を吸収し、こんなに大きくなったようです。それにしても木の根っこはどこからやってきたのでしょうか。尋ねると、「これは榎(まき)の根です」と言われ、周りを見渡すと、3メートルほど離れたところに確かにありました。栄養を求めて地下を這ってきたのでしょうか。驚きました。

ここで、「知り合いの業者」について書きます。実はこの人は、私の最初の生徒、1年6組のO君です。学校では、物静かで、それほど目立つ存在ではありませんでした。あれから40年近く経つでしょうか。とても優秀な技術者になっていました。O君とは、彼が卒業してから30年近く会っていませんでした。誰が思い立ったか知りませんが、クラスを超えた同窓会が企画され、そこに呼ばれ、すっかりおじさん、おばさんになったかつての「少年・少女たち」と再会しました。以来、小グループの懇親会が催されるようになり、O君が「管」に関する仕事をしていることを知りました。保育園の水道やトイレのトラブルがあるたび、お世話になるようになりました。その仕事ぶりは毎回見事としか言いようがありません。今回もとても助かりました。本当にありがとう！



おじさん、おばさんの同窓会(2019年8月)